

平成29年度 事業報告書

平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで

認定特定非営利活動法人さわやか青少年センター

1 事業の成果

平成29年度は、当法人が、青少年の人間力（自助力と共助力）を青少年が自ら育むことを支援するうえで、それぞれの事業において、これまでの活動の積み重ねの上に、ツールの工夫や活動内容の質を高めながら、子どもの人間力を育むための働きかけを広く行うことができた。

また、2020年の東京オリンピック、パラリンピックという契機を念頭におき、ボランティアマインドの醸成や、児童・生徒が地域の一員として育つことの必要性についての理解を、各事業を通じて広め、啓蒙することができた。

東京都教育庁からの「東京都立特別支援学校における社会貢献活動モデル事業」を昨年度に続いて受託し、特別支援学校の児童・生徒が施設団体の高齢者への社会貢献活動をするというコーディネートを通じて、地域で多様な人々が共生する心豊かな社会作りにも貢献することができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (単位:円)
体験を通じた青少年健全育成事業	ふれあいボランティア(FV)体験学習(活動)普及・啓発事業 ふれあいボランティアパスポート(FVP)事業 ・FVPの内容を改訂し、児童・生徒にFV体験学習(活動)の内容を24の行状で紹介し、取組姿勢なども掲載した。 ・FVP参加校は59校・9団体、参加児童・生徒数47,008人であった。 ・FV活動感想文を募り、応募者数1505人、14人を表彰した。平成29年度FV活動感想文集を作成し、ホームページ上に掲載した。 ・3校を学校賞(感想欄回収率による)として表彰した。 新成人のボランティア(V)活動アンケート調査研究事業 ・1月7日佐賀県神埼市の成人式の場で、小中学校時代FVPに取組んだ新成人のV活動参加状況調査を行い、新成人の59.2%が現在もV活動に参加している調査結果を得て、FVP事業の継続の有効性を検証することができた。 (平成28年度社会生活基本調査:20歳~24歳V参加19.2%)	4月~3月	全国の小中高等学校・団体等	5人	参加校159校・9団体、児童・生徒47,008人 他不特定多数	1,015,856
	1月7日	佐賀県神埼市	3人	不特定多数		
フォーラム・講演会・研修会・コンサルティング・講師派遣等の普及啓発事業	スクールボランティアサミット(SVS)事業 ・SVS2017を東京都奉仕・ボランティア教育研究会と共催して8月8日開催した。参加者112人。昨年度より2年連続して参加者が100人を超えた。今回初めて、都立特別支援学校2校の参加を得て、小中高含めて5校が活動報告を行った。また、ワークショップでは、民生委員が課題を提供し、高校生も参加して課題解決のボランティアプログラムづくりを行い、現実に即した情報提供の幅を広げることができた。 ・SVS2017活動のまとめを作成し、ホームページ上に掲載した。	8月8日 9時~17時	東京都立文京高等学校	20人	参加112人 他不特定多数	323,337
	青少年地域ボランティアサークル活動(SCVC)普及事業 ・6月24日、置賜社会教育振興会・置賜地区青少年育成連絡協議会・長井市まちづくり青少年育成市民会議合同研修会(山形県長井市置賜生涯学習プラザ)において、社会教育主事・公民館主事・SCVC指導者、教師等に対して、社会教育及びSCVC活動の必要性について講演を行った。 ・3月15日、平成29年度YYボランティア推進研修会(山形県青年の家)において、研修会のコーディネート及び社会教育主事・公民館主事・SCVC指導者等に対してSCVCの必要性、児童・生徒の確保策等について講演を行った。	6月24日 3月15日	山形県長井市置賜生涯学習プラザ 山形県青年の家	1人 2人	社会教育行政・SCVC指導者・公民館主事・公民館スタッフ等1人。他不特定多数 上記同30人 他不特定多数	204,246
広報事業	広報事業 ・さわやか青少年センターのホームページを充実しながら、上記3つの事業に関する情報の発信を行った。 ・青少年の人間力育成に関する行政や団体等の動きなどの情報をホームページ上で紹介した。	4月~3月	さわやか青少年センター事業所	2人	不特定多数	69,556
東京都教育庁委託事業	東京都立特別支援学校における社会貢献活動モデル事業 ・東京都立特別支援学校20校の児童生徒が、それぞれ20の高齢者施設・団体の高齢者に社会貢献活動をするためのコーディネートを行い、実践事例集を作成した。 ・社会貢献活動の実施日において、東京都教育長の視察や新聞社等の取材が入るなど、本事業への注目を得た。	6月~3月	東京都立特別支援学校20校・20高齢者施設・団体	5人	東京都立特別支援学校20校の児童・生徒409人、20高齢者施設・団体の高齢者436人 他不特定多数	9,994,535
合計						11,607,530

平成29年度 活動計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

認定特定非営利活動法人さわやか青少年センター
(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	112,000		
賛助会員受取会費	276,000	388,000	
2 受取寄附金			
受取寄附金	566,825	566,825	
3 受取助成金等			
受取助成金	0	0	
4 事業収益			
事業収益	305,382		
受託事業収益	9,990,000	10,295,382	
5 その他収益			
受取利息	34		
雑収益	25,660	25,694	
経常収益計			11,275,901
II 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費			
給料 手当	3,627,500		
支払 報酬	3,097,500		
臨時雇賃金	9,750		
法定福利費	544,742		
人件費計	7,279,492		
(2)その他経費			
諸 謝 金	94,137		
印刷製本費	1,252,543		
会 議 費	27,140		
旅費交通費	359,964		
通信運搬費	372,628		
地代 家賃	1,503,360		
水道光熱費	94,285		
消耗品 費	117,804		
保 險 料	6,555		
リース 料	77,760		
諸 会 費	49,130		
新聞図書費	2,268		
租税 公課	10,000		
研 修 費	7,000		
支払手数料	153,464		
支払寄付金	200,000		
その他経費計	4,328,038		
事業費計		11,607,530	
2 管理費			
(1)人件費			
人件費計	0		
(2)その他経費			
印刷製本費	15,000		
通信運搬費	13,448		
消耗品 費	1,080		
支払手数料	9,684		
その他経費計	39,212		
管理費計		39,212	
経常費用計			11,646,742
当期正味財産増減額			△ 370,841
前期繰越正味財産額			2,413,577
次期繰越正味財産額			2,042,736

平成29年度 貸借対照表

平成30年 3月31日現在

認定特定非営利活動法人さわやか青少年センター

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	1,173,976		
青少年人間力育成事業用預金	1,000,205		
未収金	140,660		
前払費用	54,648		
流動資産合計		2,369,489	
2 固定資産			
投資その他の資産			
敷金	500,000		
投資その他の資産計	500,000		
固定資産合計		500,000	
資産合計			2,869,489
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	312,666		
前受会費	3,000		
預り金	11,087		
流動負債合計		326,753	
2 固定負債			
役員借入金	500,000		
固定負債合計		500,000	
負債合計			826,753
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		2,413,577	
当期正味財産増減額		△ 370,841	
正味財産合計			2,042,736
負債及び正味財産合計			2,869,489